

Insider Risk Management

自己紹介



五戸 禎人 (gonoway)
Yoshihito Gonohe
Cloud Native Inc.
Cloud Security Architect

経歴

セキュリティ製品のデプロイ(前職)->MDM(Intune、Jamf) ->育 休(1年→CISSP取得)->IdP(Okta、Azure AD) • IGA

今やっていること

情報システム部門へのコンサルティング業務 新製品の調査・検証

その他言いたいこと

JPEMSUGも好きだし、JOUGも好きだし、JMUGも好きです!!



このセッションで話すこと

- 1. 概要・利用できるライセンス
- 2. 始め方
- 3. 今後の展望

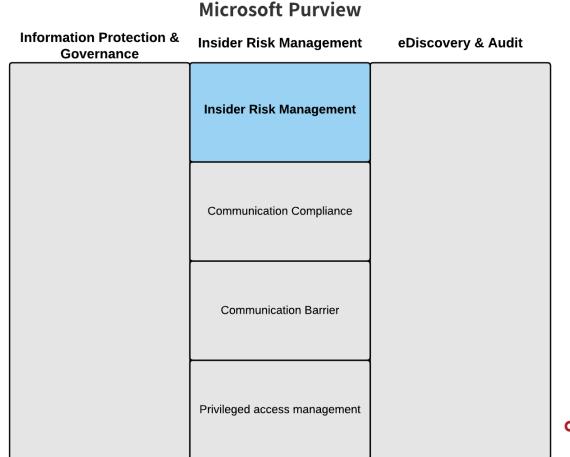


このセッションで話すこと

- 1. 概要・利用できるライセンス
- 2. 始め方
- 3. 今後の展望

Insider Risk Managementとは

- 組織内の悪意のあるもしくは不注意な行動を検出・調査・対処するための機能
- Microsoft Purview リスクおよびコンプライアンスソリューションの1つの機能



Insider Risk Managementが使えるライセンス

- Microsoft 365 E5
- Microsoft 365 E5 Compliance Add-on
 - Microsoft365 E3 もしくは Office 365 E3 + EMS E3の利用が前提
- Microsoft 365 E5 Insider Risk Management Add-on
 - Microsoft365 E3 の利用が前提



このセッションで話すこと

- 1. 概要・利用できるライセンス
- 2. 始め方
- 3. 今後の展望

Insider Risk Managementの始め方

到達点:自社がどんな状態なのかを把握できる。

設定所要時間:2~3分!

※ Microsoft Purviewのページへのアクセス権を保持している前提

- Microsoft Purviewのページにアクセスする
- 画面左の内部リスクの管理を開く
- 潜在的な内部リスクをスキャンする
- おわり!

Microsoft Purviewのページにアクセス

- Microsoft Purview (https://compliance.microsoft.com/homepage) のページにアクセスする
 - アクセス権限がなければAzure ADグローバル管理者に権限付与のお願い

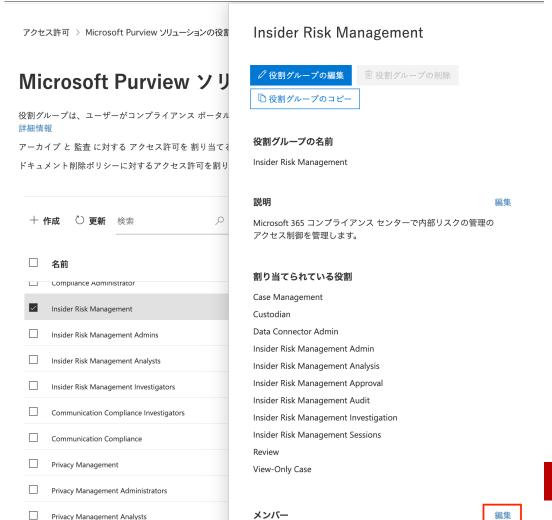


権限付与のお願いの仕方

• Microsoft Purviewページの[アクセス許可] - [役割]の以下の権限を付与しても らう

Insider Risk Management





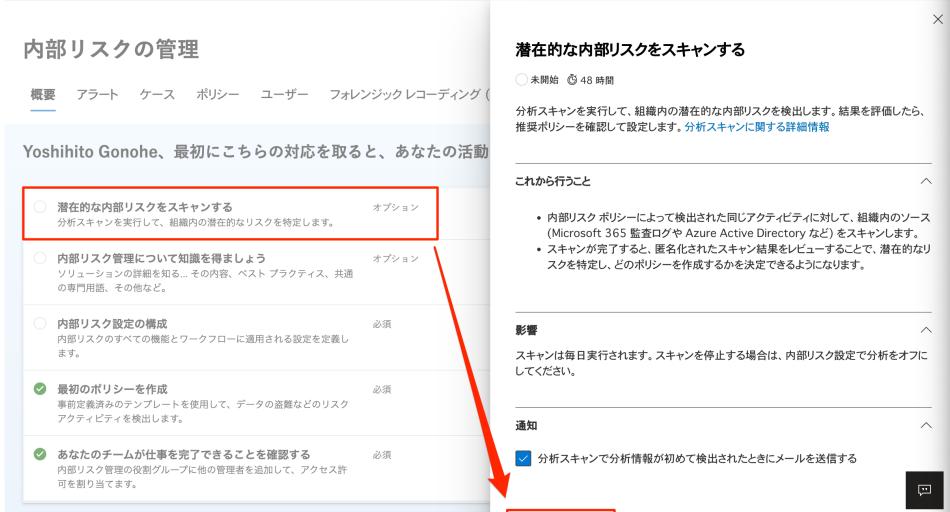
画面左の内部リスクの管理を開く

● アクセス権限がなけれb(ry



潜在的な内部リスクをスキャンする

• 推奨アクション部分のスキャンを実行する



スキャンの実行

後で保存

おわり!

おわりです。数日間待ちます。

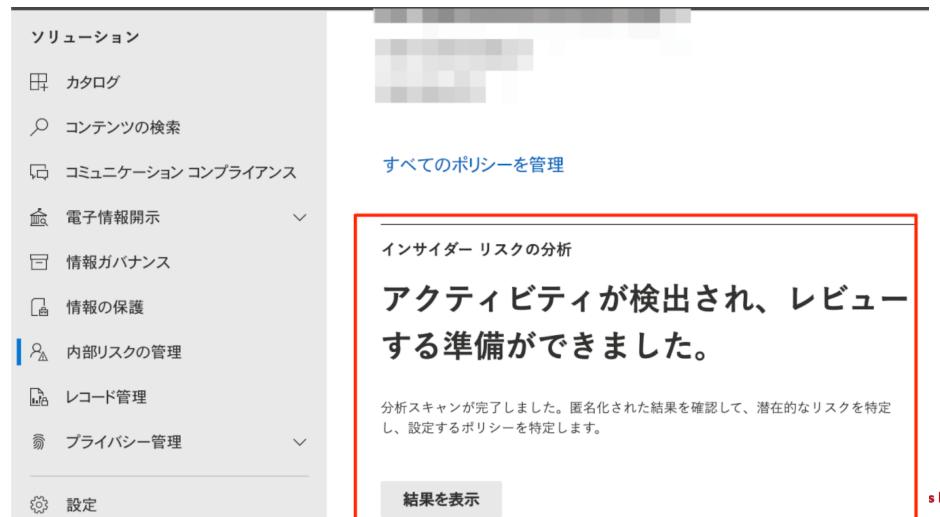
✓ スキャンが開始されました。結果報告をお待ちいただきありがとうございます。

お客様の環境にインサイダーリスクがないかスキャンするまでお待ちいただきありがとうございます。今後数日以内に、分析情報やポリシーに関する推奨事項がありましたら、メールでお知らせします。このソリューションでは、レポートを確認して [概要] ページで表示することもできます。

X

スキャン完了後

数日後に内部リスクの管理画面から、結果を表示できます。



結果の表示

● 検出された潜在的なリスクと、対処するための分析情報と推奨事項が表示されます。

データ漏洩の可能性のあるアクティビティ

0% のユーザー 流出処理を実行しました

スキャンされた 3 ユーザーからのアクティビティ

おすすめ: ユーザーの「一般的なデータ漏洩」ポリシーを設定する

組織外での情報の偶発的な共有から悪意のあるデータの盗難まで、潜在的なデータ漏洩を検出して警告します。

詳細を表示

上位の流出アクティビティ

おすすめ

ユーザーの「一般的なデータ漏洩」ポリシーを設定 する

組織外での偶発的な情報共有から悪意のあるデータ 盗難まで、潜在的なデータ漏洩を検出して警告する ポリシーを作成します。

組織外のユーザーにメールを送信する

スキャンされた 2 ユーザーからのアクティビティ

ユーザーの上位 1% が組織外のユーザーに 32 回以上メールを 送信しました

ユーザーの上位 5% が組織外のユーザーに 32 回以上メールを 送信しました

ユーザーの上位 10% が組織外のユーザーに 32 回以上メール を送信しました

SharePoint ファイルをダウンロードしています

スキャンされた 1 ユーザーからのアクティビティ

ユーザーの上位 1% が SharePoint ファイルを 2 回以上ダウンロードしました

ユーザーの上位 5% が SharePoint ファイルを 2 回以上ダウン ロードしました

ユーザーの上位 10% が SharePoint ファイルを 2 回以上ダウンロードしました



- このセッションで話すこと
- 1. 概要・利用できるライセンス
- 2. 始め方
- 3. 今後の展望

今後の展望

- ID領域でもHRを上流として、IdPやIGAに入退社情報や異動情報を流し込み、下流のシステムへのProvisioning/Deprovisioningやアクセス権変更を行う流れ。(HR Driven Provisioning)
- Insider Risk ManagementもHRコネクタがあり、退職日データを流し込むことで、退職日直前の人の行動について絞りこむことができる。
- データ持ち出しの観点でもHR情報を活用する世界線に今後なるかも。

おしまい